

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム此の花

作成日: 令和4年5月18日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束や虐待について年2回事業所内で研修や意見交換、意識調査を行っているが、身体拘束や虐待には職員の日ごろのストレスが要因となっていることも考慮する必要がある	身体拘束や虐待についての研修だけでなく、職員のストレス度を測るためのセルフチェックを行うことで、身体拘束や虐待に繋がる悪い流れを未然に防ぐことを目標とする	年2回の身体拘束&虐待防止研修と合わせて職員のストレスチェックを実施。ストレスの原因となっている職場環境を明確にし、環境改善を図る (業務内容が負担となっている場合は、業務の簡略化&効率化を図る等)	12ヶ月
2	35	地震や水害などの災害時に活用するBCPマニュアル作成について、地域との連携が必要不可欠であるがコロナ禍で運営推進会議を開催することが難しいこともあり、マニュアル作成が想定通りに進んでいない	地域(自治区)と連携を取り、事業所の状況や周辺環境に則したBCPマニュアルを作成する	BCPマニュアル作成のためのひな形の情報や講習会が増えてきたので、当事業所と似た状況であれば参考にしつつ、BCPマニュアルを作成。運営推進会議を通して地域の意見を取り入れ適時修正し完成を目指す	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。